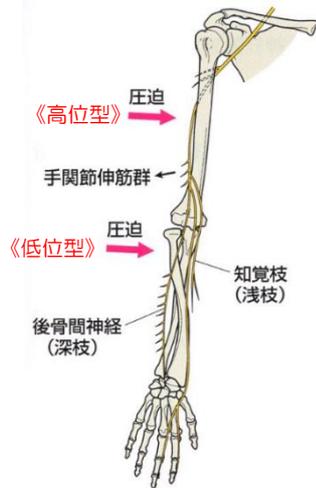


1. 橈骨神経損傷

1-概要

- 上腕部の圧迫や、上腕骨骨幹部骨折により橈骨神経が損傷をきたしたもの



2-原因

- 長時間の不良肢位での圧迫が原因となることが多い
- ⇒睡眠時の不良肢位 “Saturday night palsy” “Honeymoon palsy”
- ⇒腋窩の圧迫 (松葉杖 etc)



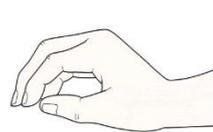
3-症状

- 手関節の背屈障害や、母指/示指/中指背側の感覚障害

【下垂手】 十下垂指

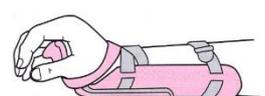


【下垂指】



4-治療

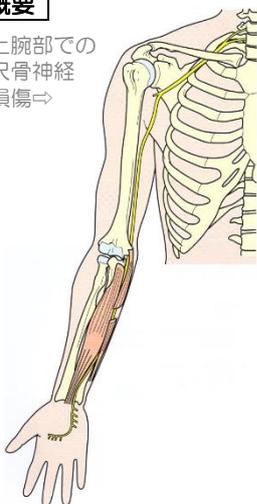
- 《保存療法》
 - ・ADL 動作指導
 - ・装具療法⇒ “cockup splint”
- 《観血療法》
 - ・骨折による神経断裂時



2. 尺骨神経損傷

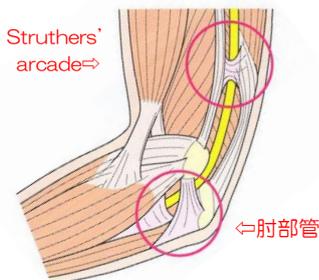
1-概要

- 上腕部での尺骨神経損傷⇒



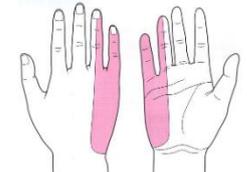
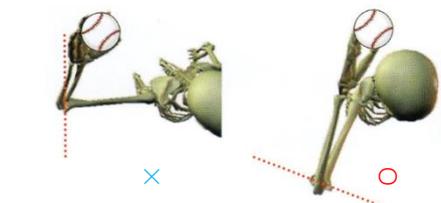
2-絞扼部位

- 《ストラザースアーケード》
 - ・上腕三頭筋内側頭や上腕深筋膜が作る腱弓。
 - ・上腕遠位 1/3、上腕骨内側上顆近位 8cm に存在。



3-原因

- 野球、バレーボール、バドミントンによる肘関節 屈曲+外反 負荷で発生する



3. その他注意すべき疾患

※『パネコースト症候群』

- 肺尖部の腫瘍が、胸壁や頸部に浸潤したもの。頸部～上腕の疼痛、ホルネル徴候、手指の筋萎縮が見られる。



- 《治療》
 - ・放射線療法
 - ・化学療法が主体



※『頸肩腕症候群』

- 頸部～肩上肢に症状が生じるものの中で、原因が明確でないものをいう。
- 若年女性や長時間 PC 作業者に好発、かつてはキーパンチャーやタイピストの労働災害として知られ、キーパンチャー症候群とも呼ばれた。



ご清聴ありがとうございました。